

1 分子細胞形態科学 (人体構造学コース)

Molecular and Cell Structural Science (Human gross anatomy)

研究指導教員：本間智教授 大学院担当教員：伊藤哲史准教授

1. 学習目標

(1) 一般目標 (GIO)

人体の構造と形態について個体・器官系・器官のレベルで、機能も含めて概説できる。

(2) 行動目標 (SBO)

一般目標達成のために必要な形態学的研究法を修得し、文献検索とその評価法、論文作成法を身につけることができる。

2. 評価方法

提出レポートによる。

3. 準備学習 (60分/1回の授業あたり)

事前に配布する資料を読んでおくこと。

4. 課題に対するフィードバック

提出されたレポートは内容をチェックして返却する。特に解剖所見のスケッチは、指摘された問題点を見直すことで形態学的研究に必須である観察眼を涵養できる。

5. 授業時間割、講義内容

曜日	時 限	単 位	授業区分	授 業 内 容	担当教員	授業場所
火	(昼間) (前期) 3 (後期) 2 (夜間) 6	4	講 義	肉眼から実体顕微鏡レベルで観察可能な人体構造を中心に講義を行う。正常構造は必ずしも同一形態を指すものではなく、一定頻度で見られる個人差(解剖学的変異)を含めたものであることを例示する。また実験動物にも適応できる人体解剖の手技や、最終的に研究を論文として発表するまでの文献検索から投稿にいたる一連のプロセスを講義する。	本間教授	基礎研究棟5階 解剖学II 医局
(昼間) (前期) 木 (後期) 水 (夜間) 木	1~2 4~5 6~7	4	演 習	基本的な研究方法に加え、専門性の高い手技の技術指導を行う。さらに得られた結果に対する考察と評価、情報の検索法、学術論文の読解、学会発表や論文作成法を習得させる。また研究セミナーなどでの発表と討論をとおして研究の質や問題発掘能力を高める指導をする。	本間教授 伊藤准教授	基礎研究棟5階 解剖学II 医局
(昼間) 火 (後期) 3~4 (夜間) 金	(前期) 4~5 (後期) 3~4 6~7	4	実験実習	個体から器官系、器官レベルの理解に必要な解剖実習と、研究・分析に必要な実験実習を行う。解剖所見はスケッチにより記録する。筋、神経、血管の形態に関して、肉眼から光学顕微鏡、走査電子顕微鏡的研究手技を習得理解する。	本間教授 伊藤准教授	基礎研究棟5階 解剖学II 研究室 および アナトミーセン ター3階実習室

(昼間)						
(前期)						
金	1	6	特別研究 (2-4年次)	動脈系の局所解剖学的研究 聴覚器の局所解剖学的研究	本間教授	
(後期)	3					
水	7					
(夜間)						
火						

6. 授業時間割

(前期) 15週間

曜日	1 時限 9:00~10:30	2 時限 10:40~12:10	3 時限 13:00~14:30	4 時限 14:40~16:10	5 時限 16:20~17:50	6 時限 18:00~19:30	7 時限 19:40~21:10
月							
火			講義 (本間)	実験実習 (本間・伊藤)	実験実習 (本間・伊藤)	講義 (本間)	特別研究 (本間)
水							
木	演習 (本間・伊藤)	演習 (本間・伊藤)				演習 (本間・伊藤)	演習 (本間・伊藤)
金	特別研究 (本間)					実験演習 (本間・伊藤)	実験演習 (本間・伊藤)
土							

(後期) 15週間

曜日	1 時限 9:00~10:30	2 時限 10:40~12:10	3 時限 13:00~14:30	4 時限 14:40~16:10	5 時限 16:20~17:50	6 時限 18:00~19:30	7 時限 19:40~21:10
月							
火		講義 (本間)	実験実習 (本間・伊藤)	実験実習 (本間・伊藤)		講義 (本間)	特別研究 (本間)
水			特別研究 (本間)	演習 (本間・伊藤)	演習 (本間・伊藤)		
木						演習 (本間・伊藤)	演習 (本間・伊藤)
金						実験演習 (本間・伊藤)	実験演習 (本間・伊藤)
土							